

2026 年 7 月 8 日

篠原 猛 様

〒276-0020

千葉県八千代市勝田台北一丁目 11 番 16 号

株式会社地域新聞社

代表取締役 細谷 佳津年

質問状

株式会社地域新聞社（以下「当社」といいます。）は、2022 年 10 月 24 日開催の取締役会において、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めるとともに、当該方針に照らして不適切な者によって当社の財務及び事業の方針の決定が支配されることを防止するための取組みとして、当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収防衛策）（以下「本対応方針」といいます。）を導入することを決議し、2022 年 11 月 24 日開催の第 38 期定時株主総会において承認を受けておりましたところ、本対応方針は、2025 年 10 月 17 日開催の取締役会において所要の変更を行った上で更新する旨決議され、当該更新は、2025 年 11 月 30 日開催の第 41 期定時株主総会（以下「2025 年定時株主総会」といいます。）において承認されております。

その後、当社は、2026 年 1 月 16 日付け「当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収への対応策）に関する共同協調行為の認定についてのお知らせ」（以下「認定プレス」といいます。）でお知らせしましたとおり、同月 15 日開催の当社取締役会において、当社独立委員会による勧告を踏まえて、MTM Capital 株式会社（以下「MTM Capital」といいます。）、合同会社 YN 企画（以下「YN 企画」といいます。）、バイオセラミック株式会社（以下「バイオセラミック」といいます。）、合同会社 Happy horse（以下「Happy horse」といいます。）、KING 有限責任事業組合（以下「KING」といいます。）、静岡エネルギー株式会社、株式会社日本シーサプライ、中谷正和氏（以下「中谷氏」といいます。）、野本豊氏及び鈴木祥元氏（以下総称して「認定対象株主」といいます。）の間に「当該株券等取得者等と当該他の株主との間にその一方が他方を実質的に支配し若しくはそれらの者が共同ないし協調して行動する関係を樹立するあらゆる行為」（以下「共同協調行為」といいます。）に該当する行為が行われていると判断いたしました。もっとも、2026 年 5 月 29 日付け「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、上記判断を公表した後における認定対象株主の株主名簿上での当社株式の保有状況等から、認定対象株主は、上記共同協調行為の認定を受け、本対応方針に基づく対抗措置の発動を回避すべ

く、自己名義で直接に当社株式を所有することを避けつつ、当社株式を、信用取引の買い建玉の形で実質的に保有し続け、場合によっては買増しも行っている可能性がある」と推察されたことから、認定対象株主が実質的に所有している当社株式に係る議決権割合を明らかにすることを主たる目的として、当社は、2026年6月25日を基準日として、株式分割を実施いたしました。

他方で、①貴殿は、株式会社 NOX（以下「NOX」といいます。）の代理人として 2025 年定時株主総会に出席し、当社に対する「ウルフバック戦術」による「経営権奪取」に関して、2025 年 11 月 23 日付けで「『地域新聞社』プロキシ・ファイトで浮上した、あの大塚弁護士の利益相反疑惑!？」と題して掲載されたアクセスジャーナル記事（以下「本記事」といいます。）について、「私の名前も手紙の中に入れられた」、「まず一番にアクセスジャーナル。私の名前を書いて、アクセスジャーナルに確認とってこれ出したんですか。これ誰が書いたの、文章は」、「アクセスジャーナルに今回書いた紙、アクセスジャーナルに確認をとって文章を書いたのか、私の名誉棄損なんです。それを平気に書いたのはあなたかが書いたんでしょ」等と、本記事にはアクセスジャーナルに告発したとされる「X 氏」を含む「この乗っ取りを仕掛けている側の複数の関係者」を特定可能な情報は記載されておらず、貴殿の氏名は登場しないにもかかわらず、貴殿のことが書かれた旨の発言をされました。また、認定プレス別紙記載のとおり、2025 年定時株主総会において、認定対象株主のうち、MTM Capital、バイオセラミック、Happy horse、KING、及び中谷氏は同調して行動し、バイオセラミックが行った取締役候補者差し替えの修正動議を通じて「ウルフバック戦術」による当社の「経営権奪取」を企図していたと認められることに鑑みても、上記の貴殿の「まず一番にアクセスジャーナル。私の名前を書いて、アクセスジャーナルに確認とってこれ出したんですか。これ誰が書いたの、文章は」などとの発言は、自らが本記事における「X 氏」を含む「この乗っ取りを仕掛けている側の複数の関係者」であると自認していたとみることができ、上、本記事においては記載されていない情報を有していたことが明らかです。このため、貴殿には、「ウルフバック戦術」による当社の「経営権奪取」を企図していた認定対象株主との間に意思連絡があったものと疑われます。また、②貴殿は、オプションハウス株式会社（以下「オプションハウス」といいます。）の取締役であると認識しておりますが、オプションハウスの代表取締役である松島英将氏は、貴殿が代表取締役を務める株式会社 Rouise（以下「Rouise」といいます。）の取締役を兼任しており、Rouise の本店所在地は NOX、及び、貴殿と共にオプションハウスの取締役を務める崔彩氏が代表取締役を務めるチョイズ株式会社（以下「チョイズ」といいます。）と同一となっております。したがって、貴殿には、オプションハウス、Rouise、NOX 及びチョイズとの関係も合理的に疑われます。

このような状況下において、オプションハウスは、当社株式を①2026 年 6 月 12 日に 350,000 株、②6 月 16 日に 315,000 株、③6 月 17 日に 310,000 株をそれぞれ市場内で取得し、2026 年 6 月 25 日時点の株主名簿において、当社株式 975,000 株（持株比率 11.36%）を保有する株主として記載されており、また、チョイズは 2026 年 6 月 25 日時点の当社株主名簿におい

て、当社株式 85,000 株（持株比率 0.99%）を保有する株主として記載されております。

このため、当社としては、貴殿がオプションハウス、チョイズその他の株主との間で当社株式の取得や株主権の行使等に関する意思連絡を現に行っている、又は、今後行う可能性があるか否かを判断する必要が生じております。

つきましては、当社において、貴殿が当社の株主との間で当社株式の取得、株主権の行使及び当社の経営支配権に対して影響を及ぼし得る行為等に関して意思連絡を行っているか否かを判断するために必要な情報と考える下記の各事項につきまして、**2026 年 7 月 15 日（水）までに当社に到着するよう、書面にてご回答くださいますようお願い申し上げます。**

ご回答の際は、署名・押印のうえ、当社宛に書面でご提出ください。

なお、本書面及びご回答内容は、当社が必要に応じて公表することがあり、また、関係官公庁及び捜査機関等に情報提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

記

（１） 当社株式の今後の取得予定

- ・ 当社株式の今後の取得予定の有無及びその内容について、具体的にご教示ください。

（２） 当社株式に関する意思連絡の有無

- ・ 頭書のとおり、貴殿は、認定対象株主のほか、オプションハウス、Rouise、NOX 及びチョイズとの関係が合理的に疑われますが、これらの各法人と貴殿の出資関係の有無につきご教示ください。出資関係のある法人については、具体的な出資割合及び出資時期についてご回答ください。
- ・ 頭書のとおり、貴殿は、認定対象株主のほか、オプションハウス、Rouise、NOX 及びチョイズとの関係が合理的に疑われますが、貴殿によるこれらの各法人に対する他社の株式取得、処分又は管理に関する意思決定への影響力の有無及びその内容について、具体的にご教示ください。
- ・ 貴殿自身は当社株式を保有されていないものの、第三者（オプションハウス、Rouise、NOX、チョイズ及び認定対象株主を含みますが、これらに限りません。）との間で、当社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関して連絡・協議・合意を行った事実の有無及び該当する事実がある場合、その具体的内容、関与時期及び関係者についてご教示ください。
- ・ 第三者（オプションハウス、Rouise、NOX、チョイズ及び認定対象株主を含みますが、こ

れらに限りません。)との間で、当社以外の会社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関して連絡・協議・合意を行った事実の有無及び該当する事実がある場合、その具体的内容、関与時期及び関係者についてご教示ください。

(3) 当社経営への関与方針

- ・ 当社に対する提案行為又は経営関与（取締役選任、資本提携、事業提携等）の意図の有無についてご教示ください。
- ・ 今後、当社経営方針に関する発言や議案提案を行う予定の有無についてご教示ください。

(4) 当社第 41 期定時株主総会に出席した篠原猛氏及び株式会社 NOX との関係

- ・ 貴殿と 2025 年定時株主総会において NOX の代理人として出席された篠原猛氏は同一人物であると理解しております。かかる認識に齟齬があれば、ご教示ください。
- ・ 貴殿と NOX との関係並びに貴殿が 2025 年定時株主総会に出席するに至った経緯及び 2025 年定時株主総会に関して第三者（認定対象株主を含みますが、これに限りません。）との間で行った意思連絡の有無及びその詳細（意思連絡の当事者、時期、内容を含みます。）をご回答ください。
- ・ 貴殿の取締役である篠原猛氏と NOX の代表取締役である篠原強氏とは同性ですが、両名のご関係についてご回答ください。

(5) アクセスジャーナル記事に関するご認識

- ・ 本記事によれば、当社は「ウルフパック戦術で経営権奪取をされそうになっている」ところ、「X 氏」を含む「この乗っ取りを仕掛けている側の複数の関係者」からアクセスジャーナルに告発があったとのことですが、貴殿によるかかる「ウルフパック戦術」及び「経営権奪取」への関与の有無及びその詳細をご回答ください。
- ・ また、アクセスジャーナルに告発を行った「この乗っ取りを仕掛けている側の複数の関係者」ないし「X 氏」について心当たりがあれば、①当該人物の氏名、②当該人物が法人その他他人名義で当社株式を保有している場合にはその名義、③当該人物と貴殿との間の関係についてご回答ください。
- ・ 本記事によれば、当社に対するウルフパック戦術による経営権奪取に関する「本尊」（なお、本記事によれば当該人物はアクセスジャーナルの記事に何度も取り上げられているとのことですが、かかる「本尊」について心当たりがあれば、その氏名及び貴殿との関係についてご回答ください。
- ・ 頭書のとおり、貴殿は、当社の 2025 年定時株主総会に出席し、本記事には貴殿の氏名は

登場しないにもかかわらず、貴殿のことが書かれた旨の発言をされましたが、2025 年定時株主総会においてバイオセラミックが行った取締役候補者差し替えの修正動議は、本記事記載の「ウルフバック戦術」による「経営権奪取」に該当する行為であることが合理的に疑われるところ、貴殿がかかる発言をされたご趣旨についてご説明ください。

(6) Yahoo!ファイナンス掲示板における投稿について

- ・ 当社に関する Yahoo!ファイナンス掲示板において、「篠原猛」と名乗る人物から同一と思われる ID にて複数の投稿がございますが、当該投稿を行った人物と貴殿との関係についてご回答ください。

以 上